

臨床研究に関する情報公開について

研究課題名	当院でのペルテス病に対する大腿骨内反骨切り術の治療成績
研究機関の名称	自治医科大学とちぎ子ども医療センター
研究責任者の氏名	小沼早希
研究対象	2008年8月から2018年8月までに自治医大とちぎ子ども医療センターに入院し、大腿骨内反骨切り術を行われたペルテス病の患者さんの中で術後2年以上経過観察された24症例を対象とします。
研究の目的・意義	治療成績が悪いとされる、骨頭の圧壊がすすんだペルテス病の手術成績を後方視的に調査し、よりよい治療方法を検討することです。
研究方法	対象患者を後方視的に評価し、単純X線、性別、発症年齢、手術までの期間、手術時年齢、術後合併症、股関節の可動域を調査します。
研究期間	許可されてから、西暦2022年12月1日まで
研究に利用する情報	患者さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 →単純X線、性別、発症年齢、手術までの期間、手術時年齢、術後合併症、股関節の可動域。患者さんが解析対象となることを拒否された場合は対象から外させていただきますので、患者さんもしくはその代理の方（家族）から下記研究責任者までご連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がおこなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことは一切ありません。
研究に関する情報公開の方法	対象となる方のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。
個人情報の取り扱い	診療録から抽出する情報は、個人を特定できないように、研究責任者が氏名等、個人を特定できる情報を新しい符号に置き換えた上で研究に使用します。 データは研究責任者が整形外科部門においてにUSBメモリに保存し、鍵のかかる整形外科キャビネットに厳重に保管します。

	<p>新しい符号と個人を特定する対応表も同様に厳重に保管し、研究終了後、直ちに試料・情報等を破棄・廃棄します。</p> <p>また、研究成果は、個人を特定できないようにして学会発表や論文などで報告します。</p>
問い合わせ先および 苦情の窓口	<p>【研究責任者】 自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児整形外科 役職 病院助教 小沼早希 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1 電話：0285-58-7374</p> <p>【苦情の窓口】 自治医科大学臨床研究支援センター臨床研究企画管理部管理部門 電話：0285-58-8933</p>